



【リポーター】 死活監視機能付き電源制御装置

明京電機 株式会社

リポーター PoE 対応モデル

PoE BOOT nino PoE8M2



リポーター

WATCH BOOT light RPC-M5CS



リポーター

WATCH BOOT nino RPC-M2CS



基本仕様

品名・型式	PoE BOOT nino PoE8M2	WATCH BOOT light RPC-M5CS	WATCH BOOT nino RPC-M2CS
対応通信プロトコル	ARP、TCP、UDP、IP、ICMP、SMTP、POP3、IMAP、APOP、BOOTP、DHCP、TELNET、HTTP、NTP、SNMP、WOL		
電源制御出力	100V AC 10.5A (1050W)	最大1500W	最大1000W
消費電力	最大4.0W	最大5.2W	最大4.0W
電源制御系統	2個2系統	4個4系統	2個2系統
外部インターフェース	10BASE-T/100BASE-TX RJ-45×1 (IEEE802.3に準拠)	10BASE-T/100BASE-TX RJ-45×1 (IEEE802.3に準拠) RS-232C×1 (D sub 9ピンオス) 温度センサ AUX RJ-11×1※1	10BASE-T/100BASE-TX RJ-45×1 (IEEE802.3に準拠)
PoEポート制御	8ポート※2	-	-
入力電源電圧		AC100V±10% (50/60Hz)	
使用温度		0°C～+40°C	
使用湿度		20%～85% (結露なきこと)	
外形寸法(W×H×D)	160×40×160 mm	220×45×170 mm	160×40×160 mm
重量	約1.2kg	約1.6kg	約1.2kg
環境保証		RoHS指定対応品	

※1…RPC-M5CSのみ、OPTIONの温度センサーに対応しているモデルです。 ※2…対応するPoEスイッチは、明京電機ホームページをご参照ください。

ネットワークによる電源制御機能とPINGによる死活監視機能を持つ電源制御装置です。

PINGに回答のない機器の電源をOFF/ON(リポート)してフリーズの自動解消を行うことができる他、現行のSシリーズではハートビート監視による死活監視機能も追加されており、従来のPING監視によるフリーズ検出のみならず、アプリケーションレベルでのフリーズ検出も実現しました。

さらに、ネットワーク経由でログインして電源を制御することも可能。夜間や休日など無人の拠点に展開されたルーターやスイッチのフリーズを、現地に駆けつけることなく解消でき、ネットワーク管理者の負担を大幅に軽減します。

また、「PoE BOOT nino」は、PoEハブのポート単位での死活監視&自動リポートができる2アウトレット小型リポーターです。ルーターやPoEハブを監視しつつ、PoEハブの各ポートに接続されたアクセスポイントやIPカメラ等の監視ができます。(最大PoEポート制御数：8ポート)

主な機能

- PINGによるフリーズ検出
- ハートビート監視による死活監視機能を追加 (Sシリーズ)
- メールチェックによるフリーズ検出
- 通信による電源制御
- E-mailだけで電源制御
- 週間スケジュール機能
- E-mailによる状態通知
- ネットワーク稼働監視